

平成26年 第6回県教育委員会会議
報 告 事 項 (2)

学校人事課

1 報告事項

平成26年度 公立学校教職員定期人事異動の概況

2 事項の説明

(1) 人事異動の基本的な方針

- ① 全県的視野に立った広域交流に努める。
- ② 各学校の課題解決を図る人事異動に努める。
- ③ 特色ある学校づくりのための人事配置に努める。
- ④ 男女バランス、年齢等の職員構成について考慮する。
- ⑤ へき地校への異動促進を図る。

(2) 定期人事異動の概況

<校種別の内訳>

校 種	職員数 (人)	異動者数 (人)	異動率 (%)	前年度異動率 (%)
小学校	4, 430	1, 115	25. 2	23. 8
中学校	2, 758	668	24. 2	23. 7
高等学校	3, 701	864	23. 3	22. 5
特別支援学校	1, 239	319	25. 7	19. 0
合 計	12, 128	2, 966	24. 5	22. 9

- ① 定期人事異動は原則5年としており、公立学校本務教職員数12, 128人中2, 966人が異動し、異動率は24. 5% (前年度は22. 9%) となっている。
- ② 退職者数は、小学校が164人、中学校が81人、高等学校が95人、特別支援学校が34人で合計374人である。(前年度は445人)
- ③ 管理職への昇任は、校長69人(11)、教頭80人(13)、合計149人(24)である。
* H26 受験者数 校長・教頭 622(88) 合格者数218(41) 合格率35.0(46.6)
H25 受験者数 校長・教頭 608(101) 合格者数214(52) 合格率35.2(51.5)
- ④ 事務長への昇任は、課長相当職3人(2)、班長相当職5人(0)である。
※()内の数字は女性で内数
- ⑤ 新たな職について、副校長は、小中学校3人、高等学校3人、主幹教諭は、小中学校13人、高等学校2人、特別支援学校8人の配置を行った。
- ⑥ 新規採用者数は、教諭399人、養護教諭20人、事務職員40人、学校栄養職員4人、その他職員17人 合計480人(前年度:548人)である。
- ⑦ 高等学校においては、養護教諭23校、教頭27校の複数配置を行った。
- ⑧ 栄養教諭については、単独調理場7人、共同調理場33人の配置を行った。

(3) その他 ①少人数指導と②少人数学級

- ① 小中学校においては、児童生徒数や学級数に応じて配置される基礎定数とは別に指導方法工夫改善等の加配定数を385人を配置することで、学校が抱える教育課題の解決に向けて取り組んでいる。
- ② 小学校1年生から小学校3年生及び中学校1年生については、少人数学級(標準学級編制に比べ259学級増)を実施することできめ細かな指導の充実を図っていく。